



桜ヶ丘銅鐸・銅戈群



Q1. 次の文章の () をうめてみよう。

銅鐸とは (弥生) 時代につくられた青銅製の「かね」である。
 (1964 (昭和39)) 年12月10日、神戸市 (灘) 区桜ヶ丘町の通称「神岡」とよばれていた六甲山中から銅鐸 (14) 個と銅戈 (7) 本が発見された。まとめて国宝に指定される。

Q2. 銅鐸はどんなことに使われていたものと考えられるだろう？
 あなたの考えをまとめてみよう。

豊作を祈ったり、祝ったりするためのマツリの道具として使われていたといわれているんだ。

Q3. 4号銅鐸には何が表されているかな？

四足動物 クモ？	魚 サギ	トンボ	カマキリ クモ？
I字型道具 を持つ人	角を持ちシカの 頭を押さえる人	イモリ	スッポン

年 組 番

Q4. 5号銅鐸には何が表されているかな？

カエル・ヘビ ぼう 棒を持つ人	カマキリ カエル・クモ？	I字型道具を 持つ人・魚	トンボ イモリ
三角頭 (△) と 丸頭 (○) の人	弓を持ちシカの 角をつかむ人	魚・サギ スッポン	だっこく 脱穀作業を する人

Q5. 表されている人物のかたちにはちがいがあることが分かる。

何がどちらがうのか。また、そのちがいは何を表しているのか考えてみよう。

Q4にあるように、頭のかたちにちがいがあることが分かる。これは、おそらく性別のちがいをあらわしているのでは…と、考えられているんだよ。

(ふりかえり) 桜ヶ丘銅鐸・銅戈群は国宝に指定されている。実際に
 見学して「すごい！」と思ったことを自由に書いてみよう！

14個の銅鐸がまとまってうめられていただけでなく、7本の銅戈とともに発見された。また、14個の銅鐸のうちに、4個の絵画銅鐸(1号・2号・4号・5号)がある。

以上のような特徴と美術工芸的な高い評価によって、1970(昭和45)年に国宝に指定されたんだ。